中南米　建物耐震技術の向上・普及
Enhancement and Dissemination of Earthquake-resistant Technology for Buildings in Latin American Countries

継続

対象国の条件：中南米地域で、地震での建物倒壊により大きな被害が発生したことのある国

研修コース番号：J1804009　　**案件番号：**1884483

主分野課題：水資源・防災/地震災害対策

副分野課題：

使用言語：西語

案件概要

中南米は地震が頻発する地域であるが耐震建築の技術普及が遅れており、地震による建物倒壊でこれまで多くの人的・物的被害が発生している。本研修では、研修員が耐震設計・施工・診断・補強の技術と制度を講義・構造実験・現場見学により学ぶことにより、自国での耐震建築の普及、及び耐震建築技術者の育成により、将来の地震発生時の被害を軽減させる。

目標／成果

【案件目標】
本研修を通して、研修員が建物の耐震設計・施工・診断・補強の技術と制度を理解し、その普及のための行動計画を立案・実施する。

【成果】
1. 自国の耐震分野の現状と課題を整理する
2. 地震工学・耐震設計の基本を理解する
3. RC造・組積造等、構造ごとの耐震建築に関する技術を理解する
4. 耐震診断・補強に関する技術を理解する
5. 日本の耐震建築の許認可と普及に関する制度と技術者育成の取り組みを理解する
6. 自国の耐震化を促進する具体的行動計画を立案する

対象組織／人材

【対象組織】
耐震建築・技術普及を担当する政府機関および同分野の大学・技術者養成機関

【対象人材】
1. 大学卒業または同等の資格を有すること
2. 地震工学分野で5年以上の実務経験を有すること
3. 耐震建築技術の研究或いは同分野の普及・技術者養成において指導的な役割を現在担っている、もしくは将来担う見込みであること

内　容

1. 事前活動：(1)インセプションレポート（IcR）の作成
2. 本邦研修：
(1)IcR発表、自国の耐震建築分野の現状と課題に関する発表と議論
(2)耐震工学概論・構造物応答論の講義
(3)RC造、制振・免震構造の講義、構造実験、現場見学
(4)耐震診断・補強の講義、現場見学
(5)日本の耐震建築の許認可と普及に関する制度と技術者育成に関する講義と見学
(6)アクションプラン（AP）作成、発表会での議論
3. 在外補完研修：(1)組積造の講義、構造実験、現場見学

本邦研修期間	2018/5/13～2018/7/14
担当課題部	地球環境部
所管国内機関	JICA筑波（研修業務）
関係省庁	国土交通省
実施年度	2017～2019

主要協力機関	国立研究開発法人　建築研究所
特記事項及びホームページ	